

【参考資料】

昨年の戦略会議で提起・議論された事項の対応等について

①「採用したい」という企業と「働く場所がない」という市民の「ミスマッチ」対策について

→製造業等の人材確保のため、広報しろいしに「しろいしの働き人」というコーナーを設け、企業の魅力や生き生きと働く若者たちを紹介し、企業のイメージアップに努めている。

②企業等へのインターンシップ推進について

→市では今後、「移住交流サポートセンター」のマンパワーを活用し、今後企業の見学ツアーや体験活動等を実施していく予定。また、今年1月に白石中学校1年生を対象に市内の企業等と連携して仕事のやりがいや魅力を聞く「職業人に聞く会」を試行的に開催。

③年間宿泊人数の動向や他市町との比較について

	H 2 2	H 2 3	H 2 7	H 2 8	H 2 9
観光客入込数	750,611	440,248	739,555	784,373	788,461
年間宿泊者数	86,872	75,954	73,756	73,052	80,436

→入込数は震災前の水準に回復。宿泊者数は観光キャンペーン等の展開によりH29に増加に転じたが、震災前には及ばない。なお仙南圏域のH29宿泊者数はH22より15%増

④進学応援奨学金貸付（居住を継続した場合等の奨学金返還支援）の取り組みについて

→宮城県内では医療・介護職の人材確保を目的に石巻市が実施中。現時点では企業からの打診もなく、市として導入を検討していないが、他県では県が基金を創設し実施している例もあり宮城県の動向も注視している。

⑤移住世帯の「移住の理由」把握について

→傾向的には白石市に何らかの縁故があるU・Jターン世帯が多い。趣味や創作活動のために移住してきた方もいる。市では移住者の体験談等を綴った冊子をフェア等で活用中。

⑥出産・子育てに関する情報提供の強化について

→市ホームページ内に「子育て支援サイト」を構築。出産・子育ての情報や相談窓口を一括して紹介中。子育て支援情報を1冊にまとめた「子育てほっとマップ」も作成している。

⑦若い世代の意向把握について

→8月1日、市内の高校生、大学生を中心に白石城を生かした観光活性化策を話し合うワークショップを開催し企画案をまとめて頂いた。テーマを変え今年度もう1回実施予定。また、11月には中学生が議員役となる「中学生議会」が開催される予定。

⑧集落単位での「全住民アンケート」について

→本年斎川地区で「中学生以上全住民アンケート」を実施。市はまちづくり交付金及び結果入力等の支援を実施。民間団体の協力で地域の課題や今後の取り組みについて集計分析。